

令和元年度第62回福島県中学校体育大会 ソフトボール大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 福島市教育委員会
福島県中学校長会 公益財団法人福島県体育協会
福島県ソフトボール協会
- 2 後援 福島市 福島市体育協会
- 3 主管 県北地区中学校体育連盟 県北ソフトボール協会
福島市ソフトボール協会
- 4 期日 令和元年7月22日(月)～24日(水)
雨天順延：予備日は25日(木)・26日(金)
22日(月) 監督会 14:00～ 十六沼公園体育館会議室
開始式 15:00～ 十六沼公園体育館
23日(火) 競技 9:00～ (女子)
24日(水) 競技 9:00～ (男女)
閉会式 13:30～ 十六沼公園スポーツ広場
- 5 会場 十六沼公園スポーツ広場(福島市大笹生俎板山341)
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し、校長が参加を認めた者とする。
(2) 各地区予選会を通過した一校単位で編成されたチームとする。
(3) 複数校合同チームでの参加については、福島県中学校体育大会開催基準に適合し、各地区予選会を通過したチームの出場を認める。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書(校長承諾書)」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 外部コーチについては校長が認めた者とし、所定の様式に従い「コーチ確認書」を参加申込と同時に提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員・校長・部活動指導員の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
(3) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員、外部コーチ等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部コーチ等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 8 参加人員 (1) 引率者1、監督1、コーチ1、選手18とする。
(2) 出場チームについては、男子はオープンとする。女子は16チームとし、地区別出場枠は次の通りとする。
基本各地区2、開催地区4、次年度開催地区3、推薦2、最大4。
推薦については、令和元年度以降の開催ローテーション順(今年度は県南)に+1、前年度総合大会上位地区(優勝→準優勝)→登録チーム数が多い地区の順に+1。
(今年度：県北4、県中2、県南3、会津3、いわき3、相双1)
- 9 競技規則 2019年オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。その他2019年度の競技運営に関する注意事項による。
- 10 競技方法 トーナメント方式

- 11 試合球 男子：内外ゴム社製 ゴム3号球
女子：ナガセケンコーボール ゴム3号球
- 12 表彰 (1) 男女とも、優勝チームには優勝旗、準優勝チームには準優勝カップを授与する。優勝旗、準優勝カップとも持ち回りとする。
(2) 男子の1位・2位には、賞状とメダルを授与する。
(3) 女子の1位～3位には、賞状とメダルを授与する。
- 13 参加料 1名 1,500円とする。
- 14 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。
(2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ提出する。
(3) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。
- 15 宿泊 (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。（指定外の宿泊施設の利用は認めない。）また、宿泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。
(2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
(3) 宿泊料金は、令和元年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。
- 16 大会規則 (1) 男女ともトーナメント方式とし、3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた時は、得点差コールドゲームとする。
(2) 7回終了時同点の場合は、8回からタイブレーカーにより試合を継続する。
(3) ベースコーチは選手のみとし、ヘルメットを着用する。
(4) 捕手は、準備投球の時もスロートガードつきマスク・捕手用ヘルメット・プロテクター・レガースを着用する。捕手以外の選手が捕球するときはスロートガードつきマスク・捕手用ヘルメットを着用する。監督・コーチが準備投球の捕手をする場合は、スロートガードつきマスクを着用する。また、捕手用ヘルメットを着用することが望ましい。
(5) 金属製スパイク、セラミック製のスパイクの使用は禁止する。
(6) 抗議（プロテスト）は、監督に限る。
(7) サスペンデットゲームを採用する。
(8) 今年度のルール改正に留意する。
(9) 雷が鳴った場合は即ゲームを中断し、鳴り止んでから20分後に再開とする。
- 17 その他 (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。
(2) プログラムは有料とし、1冊800円で販売する。
(3) 参加記念章は、1個350円で販売する。
(4) 東北大会への出場については、上位2校が出場権を得る。
(5) 全国大会への出場については、東北大会上位校が出場権を得る。
(6) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
(7) 監督会・開始式には、ユニフォームを着用して参加する。
(8) 連続する試合の場合は原則として30分あける。
(9) 鳴り物は一斉禁止とする。
(10) 試合中の応援は指定された場所で行うこと。
- 18 連絡先 県専門部委員長 佐藤 真一(明健中：024-935-1071)
開催地区専門部委員長 佐藤 誠(清水中：024-559-0085)